

警神 増田敬太郎

神様になった警察官

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、ある一人の警察官の活躍が再び注目を集めています。今から125年前、旧佐賀県東松浦郡入野村高申地区（現・唐津市肥前町高申地区）を襲った伝染病「コレラ」。

防疫や患者の遺体搬送などに不眠不休で取り組んだ警察官の活躍により、命を救われた人々は、その偉業を親から子、孫へと代々語り継ぎ、今でも感謝の気持ちをもち続けています。

警察官の名は、増田敬太郎。明治2（1869）年8月、泗水村（現・泗水町）に生まれた25歳の青年でした。

【問い合わせ先】市長公室 ☎0968（25）7252



コロナ禍で脚光 明治のコレラ対応に尽力

幼い頃から進んで皆のために役に立つことを考え、行動に移してきた増田敬太郎。世の中のため、人のためになる仕事をしたいと熱望し、25歳のとき佐賀県警察学校へ入学しました。

伝染病予防の 適任者として任命

明治28（1895）年7月、増田さんは、佐賀県警察学校へ入学。約3カ月を要する教習課程をわずか10日間で習得し、優秀な成績で修了します。7月17日に巡查に任命され、19日、唐津警察署に配属されました。

当時、日本では伝染病のコレラがまん延。唐津警察署管内の高申地区も例外ではなく、応援を求めています。そんな時、秀才で学問への深い理解や行動力があり、伝染病に必要な衛生面の知識もある増田巡查の存在が目にとまります。警部は「これ以上の適任者はいない。どうかこの危機を救ってほしいか」とお願いしたそうです。一人一倍正義感の強い増田巡查はすぐに任務を引き受け、唐津から交通機関も何もない山道を辿り、21日、コレラがまん延している高申地区に着。警察官になって4日目のことでした。

徹底した感染予防

高申地区の人は、コレラ自体は恐れていたものの、予防の知識は乏しく、感染者の家にも行き来をしていました。増田巡查が到着したころには、感染者40人、疑似感染者34人、死者9人。「一刻も早く患者と健康な人との接触を断たなければ」と対策を講じることにしました。患者の家の周りに縄を張り巡らして消毒を施し、人の行き来を禁止。決して生水を飲まない、生の魚介類を食べないようにと厳しく指導して回りました。

根拠のない噂

増田巡查は、患者の家を回り、薬を飲ませていました。しかし、手遅れの患者が薬を飲んで亡くなったのをきっかけに「毒薬を飲ませている」と根拠のない噂が広がります。治る見込みのある患者までもが「毒薬など飲まない」と言い出しますが、そんな状況の中でも、増田巡查は根気強く

誤解を解いて回りました。

一方、「触れると感染する」と住民が遺体運搬を拒む中、増田巡查は自ら遺体を消毒。むしろで巻いて背負い、傾斜30度の坂道を何度も往復し、墓地に埋葬しました。手厚い看病や予防に全身全霊で取り組む増田巡查の姿に、人々は胸を打たれました。



コレラで亡くなった人を墓地へ運ぶ増田巡查

襲いかかるコレラ

高申地区に到着して3日目、不眠不休で働いたせいか、25歳の増田巡查でも疲労には勝てず、ついに自身がコレラに感染。23日の午後、倒れてしまいました。

ますます衰弱していく中でも、看病に来た人に「絶対に私には近づかないように」と気遣いを欠かしませんでした。「高申のコレラは私がすべ



死後、感染した子どもの父親の枕元に増田巡查が現れ、「コレラは吾が仇敵にして冥府に伴うので、安心して回復を待て、看病を怠ってはならぬ」と告げて、子どもは回復したという話が残っている

イラスト 紙芝居「増田敬太郎物語」(しすいっ子童話会/作)より



7	4
	6 5

4_佐賀県警察の巡視艇を先頭に、十数隻の漁船が増田巡査を火葬した小松島まで海上パレードし、献花などを行う 5_泗水公民館にある増田さんの展示コーナー 6_地元の子どもクラブが山車を引いて回る(唐津市提供) 7_佐賀県唐津市肥前町の増田神社。祭事には、増田さんの子孫、佐賀県警察本部、同警察学校生徒、唐津市、菊池市などの関係者が参列

2	1
3	

1・3_増田神社夏祭りでは白馬に乗った増田巡査の人形を乗せた山車が区内を練り歩き、港付近では佐賀県警音楽隊のマーチングパレードが行われる(唐津市提供) 2_平成29年上演の「第2回菊池市民劇つむぐ」では、増田さんの活躍も題材になった

受け継がれる思い

献身的に尽くしてきた増田巡査の生き様は、人々の心に刻まれ続けてきました。唐津市や菊池市では、今でも畏敬の念を持ち続け、増田巡査の偉業を後世へと語り継いでいます。

警神として祭られる

増田巡査が亡くなってから、高串地区の人々は、その献身的な行為に感謝し、遺骨の一部を地区で一番見晴しの良い秋葉神社の境内に埋葬しました。さらに、石碑や祠を立て、明治39(1906)年には秋葉神社と合祀され、「増田神社」となりました。全国で唯一、警察官を神様として祭る神社です。以降、地元住民からは、親しみや敬意を込めて、「増田さん」「増田さま」と呼ばれ、慕われ続けてきました。増田巡査の偉業をたたえ、毎年7月には、「増田神社夏祭り」が執り行われていきます(今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)。

紙芝居により語り継ぐ

増田巡査の出身地、泗水町で活動する読み聞かせグループ「しすいっ子童話会」では平成19年に紙芝居を作成。泗水図書館や小学校で披露するなど、増田さんの偉業を子どもたちに知ってもらいたいと活動しています。平成29年には、増田さんの活躍を題材にした市民劇が行

われ、童話会から3人が出演。代表の宇野木益子さん(南住吉)は「素晴らしい人物がいたことを多くの人が知ってほしい。後世に語り継ぐためにも活動を続けていきたいです」と思いを語りました。泗水小学校でも毎年、3年生の道徳の授業で増田さんの功績を伝えていきます。授業を受けた児童は「こんな人が泗水にいたんだ」「人のために一生懸命働いてすごい」と感じているそうです。校長の笠聡一郎さんは「自分のことよりも人のために尽くし、コレラに立ち向かった人物が地元

増田さんの精神を後世へ受け継ぎたいと地域一体となって取り組んでいます。



泗水小学校 笠聡一郎校長(広瀬)

自分よりも人のために

にいたことを誇りに感じて欲しいですね」と話します。

れています。

現在も世界中で大きな影響を与えている新型コロナウイルス。切迫した状況に不安な日々が続き、心に余裕がなくなってしまうがちです。思いやりの心を持ち、コレラから人々を救った増田巡査の慈愛に満ちた精神を今こそ受け継いでいきたいと思います。



しすいっ子童話会の皆さん

生い立ち



明治2(1869)年、泗水村(現・泗水町)の裕福な家庭に生まれた増田敬太郎さん。立派な体格に恵まれ、おらかな性格の増田さんは、誰からも好まれる性格で、裕福な家庭に生まれ育ったにも関わらず、着飾ることもせず、威張ったりすることもありませんでした。

「永島塾」で漢学などを勉強し、「後藤塾」では、数学や測量学を学び、数学の天才ともいわれていました。成績優秀な増田さんはさらに多くを学びたいと思い、東京に遊学。法律学を中心に英語や速記術、鉱山学など、自身が興味を持ったものはすべて学びました。

東京から戻ると、阿蘇郡馬見原(現・山都町)の用水路工事や北海道開拓、泗水村での養蚕業など、世の中のために働くことを次から次へと行いました。

増田さんは、社会的に弱い立場の人や貧しい人へ惜しみなく援助していましたが、勉強道具を購入できない貧しい少年には「学問を身につければ、将来役に立つはずだ」と、筆や墨などを贈っています。また、生活に困窮した人々へはお金を貸していました。

また、娯楽の少ない当時の村に、芝居の劇団を招待し村人に観劇の機会を与えるなど、文化的な活動も行っていたそうです。

年表



1869(明治2年) 8月10日、泗水村(現・泗水町)の増田家長男として誕生。少年時代から勉学に励む

1888(明治21年) 東京に遊学し法律学・鉱山学・英語・速記術を学ぶ

1890(明治23年) 阿蘇郡馬見原の用水路開削工事の技術員として招かれる

1891(明治24年) 北海道開拓団を引率して渡道

1892(明治25年) 当時の田原村(現・熊本市植木町)で養蚕技術を習得

1895(明治28年) 長崎にて貿易業に従事 弟に家督を譲る

1906(明治39年) 佐賀県警の巡査となり、高串地区に着任し、コレラの防疫指導を行う

7月24日、自らもコレラに感染し、25歳の若さで死去。4日後、分骨を秋葉神社境内へ

1947(昭和22年) 秋葉神社と合祀され増田神社となる

1962(昭和37年) 増田精神顕彰会により、生家の前に顕彰碑を建立

【参考資料】

- ・ 巡査大明神全伝(内田守/著)
- ・ 増田敬太郎物語(肥前町製作)

健康への心配、売り上げ減少への不安など、生活や雇用を守るための情報や支援制度を紹介します。要件や申請方法などは各担当課や事業所などにお問い合わせください。 ※6月22日現在の情報です

健康に関する相談

■県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口

☎096(300)5909 ※24時間対応
 ①096(383)0607、096(383)0608
 ※FAXの受付は午前9時～午後7時

■予防などの相談

☎健康推進課 ☎0968(25)7219

生活に関する支援

■上下水道料金の猶予や相談

☎水道局 お客様センター ☎0968(25)1811

■市営住宅家賃の支払い猶予

☎都市整備課 ☎0968(25)7243

■税の納付猶予

☎税務課 ☎0968(25)7208

■国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の減免または納付猶予

☎健康推進課 ☎0968(25)7218

■介護保険料の減免または納付猶予

☎高齢支援課 ☎0968(25)7215

■児童扶養手当受給者への臨時特別給付金

■児童手当受給者への臨時特別給付金

☎子育て支援課 ☎0968(25)7214

■菊池市奨学金の返還猶予や貸付基準の緩和

☎学校教育課 ☎0968(25)7230

■熊本県生活困窮大学生等のための給付金

☎県生活困窮大学生等給付金窓口 ☎096(333)2738

■収入減少に伴う生活困窮相談

☎生活支援課くらしサポートセンター ☎0968(25)1411

1人10万円の特別定額給付金 申請受付中

申請書を各家庭の世帯主宛に郵送しています。申請書(ピンク色)に必要な事項を記入の上、本人確認書類(運転免許証や保険証など)の写しと口座のわかる書類(通帳やキャッシュカード)の写しを申請書の裏面に添付してください。

同封の返信用封筒で郵送による申請にご協力をお願いします。

【受付期間】8月14日(金)まで(当日消印有効)

☎特別定額給付金推進室 ☎0968(25)1297

新型コロナウイルス感染症に関する総合窓口

【受付時間】(月)～(金)午前8時30分～午後5時15分

総務課 ☎0968(25)7111 ※(土)(日)(祝)除く

経営に関する支援

1 社会保険労務士による無料相談会(予約制)

毎月第3(水)に無料相談会を開催します。

2 中小企業者への経済対策等融資利子補給金

融資の利子を3年間、市が全額補給します。取扱金融機関作成の利子額がわかる償還表(返済予定表)の写しを提出してください。

3 菊池市飲食事業継続支援金

売り上げが前年同月比30%以上減少している中小・小規模事業者や個人事業者に20万円の支援金を支給します。【申請期限】7月31日(金)

4 菊池市農林畜産業・商工業事業継続支援金

農林畜産業・商工業者への事業継続のための支援金を支給します。【申請期限】令和3年2月15日(月)(予定)

5 菊池市内ネットショップ活用特産品・名産品消費拡大支援事業

市の農林畜産物や特産品・名産品消費拡大支援のため、市内ネットショップ活用に対し送料を補助します。

6 菊池市肉用牛肥育経営安定支援金

売り上げが前年同月比30%以上減少している肉用牛肥育農家に飼育頭数に応じた支援金(100頭未満/10万円、100頭以上/20万円)を給付します。

7 農林漁業者向け金融支援制度

経営が悪化した農林漁業者が、今後の経営に支障を来さないよう「保証料不要」、「5年間無利子」の金融支援を行います。

☎1～5 商工観光課 ☎0968(25)7223

☎6・7 農政課 ☎0968(25)7221

■雇用調整助成金の特例措置

☎熊本労働局 ☎096(312)0086

■持続化給付金

☎中小企業金融・給付金相談窓口 ☎0570(78)3183

■生産性革命推進事業の拡充

- ・ものづくり補助金の補助率 1/2→2/3へ
- ・持続化補助金の補助上限 50万円→100万円へ
- ・IT導入補助金の補助率 1/2→2/3へ

☎中小企業基盤整備機構 ☎03(6459)0866

最新情報はホームページから

- ▶ 菊池市ホームページ
- ▶ 菊池市商工会ホームページ
- ▶ 首相官邸ホームページ
- ▶ 熊本県ホームページ
- ▶ 熊本県外国人サポートセンター

市ホームページはこちらから↓

